



るうてる

箱崎群教会共同体版

—月報 メッセージと証し—

発行 日本福音ルーテル箱崎教会

代表者 牧師 和田 憲明

〒812-0053 福岡市東区箱崎 3-32-3

T E L (092) 641-5440 / F A X (092) 641-5480

メールアドレス wada@jelc.or.jp

箱崎教会・恵泉幼稚園 <http://www.jelc.or.jp/hakozaki>

聖ペテロ教会・奈多愛育園 <http://nata.aiikuen.net/>

CLICK

あなたがたもこのように働いて弱い者を助けるように、また、主イエス御自身が『受けるよりは与える方が幸いである』と言われた言葉を思い出すようにと、わたしはいつも身をもって示してきました。

(使徒言行録20章35節／新共同訳『聖書』新約聖書 P255)

受けるよりは与える方が幸い — 「世代間倫理」考

「責任という言葉は、英語で『答える能力』(response-ability)から来ています。私たちはいろいろな責任を負っていますが、その最大のもは、自分の人生をいかに過ごすかに対する責任でしょう。」(『愛と祈りで子どもは育つ』渡辺和子著「時間の使い方は、命の使い方」より)。



現代哲学者のひとりハンス・ヨナス(1903~1993 ドイツ生まれのユダヤ人、元ニューヨーク市立大学教授、主著『責任という原理』)は、未来の人々に対する私たちの責任を、環境問題から発生する「世代間倫理」と説いている。産業革命以降、人類の駆使する技術は飛躍的な発展を遂げ、地球上の自然の秩序を脅かすほどの影響力を持つまでに増大した。そのことは「人間の行為の質」を変化させ、倫理学のあり方を変えることになる。

それまでの倫理学は、「いま」「ここ」にある人間同士の行為をのみを問うものだった。「いま」かわる相手に対する倫理だけを論じてきたが、彼はその倫理は今後の世界に通じない、と考える。過剰に発達した技術により、人間同士の行為は「累積的性格」を帯びるようになった。つまり私たちのすることが、結果的に未来の人々に迷惑をかける、という事態が考えられる。オゾン層の穴、地球の温暖化、地中に埋まる核廃棄物など、次世代が暮らす地球全体を破壊させる要因を私たちはつくってきた。だからこそ、今後は同世代のみでなく、次世代に対して責任を負うこと、つまり「世代間倫理」を考えなくてはならない、との主張である。

さらに、彼の掲げる倫理学は、従来の倫理学がもっていた「相互性」の枠を出るものだった。従来の倫理の場合、例えば「ウソをついてはいけない」という義務をもっているのは自分も相手も同じ。しかし、世代間倫理は「一方的」なもの。私たちが何をして、次世代から利益を得られるわけではない。この関係を彼は親子関係になぞらえる。親が子どもを育てるのはまさに「一方的責任」である。親は子どもの存在の原因。その原因となった親が役割を担うように、未来の人に向けて果たす義務は、今生きている私たち(原因)にあるという。

冒頭に挙げた本の著者、渡辺和子はその書の続きで、「問われるのは、私たち自身なのです。『一生の終わりに残るものは、私たちが集めたものではなくて、私たちが与えたものだ』という言葉もあります。・・・そういう、人に与えたもの、時には損をしたと思うようなものが、人生の終わりに残るものだろうと思います。」と語る。

教会や園に携わる私たちの責任「答える能力」(response-ability)とは何か。今の子どもたちに残す、またまだ見ぬ次世代のために、「受けるよりは与える方が幸いである」とは、この「世代間倫理」にも深い意味をもつみ言葉だと思う。私たち大人はすでに恩恵を受けてきた。「いま」を生き、そして聖書のみ言葉を聞く私たちの答えを模索したい。



子どもたちを今までも

これからもお日さまの下で遊ばせたい

S・N

わが子の通う幼稚園の前に、8階建てのマンションが建つという連絡は突然だった。以前あった九州大学関連の古い建物は、大学の移転事業に伴い取り壊されたという。マンションが建つと、真冬の午後、園庭に日が当たらなくなってしまう。幼稚園では太陽の下での外遊びをととても大切に考えており、昼食時以外はいつも子どもたちが元気いっぱい遊んでいる。保護者と地域の人々は、1000名分の署名を集め、階層を少しでも減らしてほしいと嘆願した。

しかしマンション会社は応じる姿勢はなく、十分な説明や対応もない。すでに配られている案内チラシには「100年後の未来に誇れるまち」と共に”とのコピーが添えられていた。「飛び地だから跡地ではない」と建築条件なしで売り急いだ九州大学、巨額な購入代金を回収したいマンション会社、子どもたちの健康を守りたい幼稚園・地域住民の話し合いは平行線のまま、工事は進められようとしている。三者三様の思いがあり、三方よしとはいかないのだろう。しかし未来に生きる子どもたちを大人の事情の犠牲にしてはならないと思う。



毎週土曜日（聖ペテロ教会）、日曜日（箱崎教会）10：30～11：30（終了予定）

夏の「礼拝」のご案内

- ・ルーテル教会の「歌う礼拝」（J・Sバッハも生み出した）を体験してみませんか
- ・礼拝は、いつでも（一度だけでも）、どなたでも（信徒でなくとも）自由にご参加できます
- ・子どもたちには、「祝福」や「こどもへのおはなし」がございます
- ・和室、子どもと保護者のお部屋を、安心してご利用できます【エアコン・音響完備】
- ・お問い合わせは、気軽に、教会の電話（092-641-5440）または牧師のメール（wada@jelc.or.jp）までおたずねください

小さきもの

K・I

「パラパラ落ちる～雨よ～雨よ～」これは昔の子供讃美歌の中の一曲です。母が亡くなる2か月ほど前の一昨年秋、和田牧師と山本武子さんが母を病床に見舞ってくださったときにみんなで歌った曲です。母は人生を振り返る中で、小学生の頃から土曜日に通っていた教会の讃美歌合唱の思い出に心癒されておりまして、それでは子供讃美歌を歌おうということになったのでした。一応楽譜はコピーしていましたが、教会とは縁もなく楽譜も読めない父は黙っているだろうと思っていたところ、みんなと一緒に歌う父の声が聞こえてきたのです。「えっ、パパがこの曲を歌える?!」その時、父が小倉の聖公会の教会で幼児洗礼を受けていたという話を私は思い出したのでした。その場にいた人はみな一様に驚きました。

その後母が病床で受洗し、母の希望で父も教会籍を箱崎教会に移したいという話になったのですが、87年くらい前の幼児洗礼の話で、その後父は全く教会に繋がっていませんでしたから、転籍するための聖公会との接触を和田牧師にお願いしました。和田先生は和田友さんの遠縁に当たる聖公会の司祭に連絡を取っていただきました。しかしながら小倉の教会にも草香江の本教会にも書類が残っていないという経過をうかがった時には、もう一度洗礼を受けなおさなければならぬかなと思いました。ところが、次に和田先生が伝えてくださった話には心が震えるほどびっくりしました。小倉の教会に父のことを覚えているという方がいらっしゃって証言してくださったというのです。その方も90歳代、もしくは100歳を越える方に違いありません。私は鳥肌が立ちました。

かくして父は93歳で堅信礼を受けて箱崎教会の群れに加えられたのでした。父は物心もつかない幼い頃に教会に行き、再び幼子のように周りのケアを受け始めた頃に教会に戻ってきました。教会の中では「小さきもの」としてしか生きていないと言えると思います。しかし神様はその「小さきもの」を覚えていてくださるという証を転籍をめぐる顛末で示してくださったように思います。94歳の現在、父は恵みを受け取るだけの幸せな日々を過ごしておりますが、幼子のごとく天の御国に入れられることを願っています。この転籍に尽力してくださった和田牧師、和田友さんの遠縁の聖公会の先生に改めてお礼申し上げます。



7月下旬～8月下旬「祈りのカレンダー」 ※7月14日現在の教会の予定（ブラバシは除く）

日	曜	箱崎教会・恵泉幼稚園	聖ペテロ教会・奈多愛育園（保育園）
22	日	※教会学校（夏休み中／新学期9月2日より） 10:30 聖霊降臨後第9主日礼拝（説教：石居基夫牧師）、愛餐会、13:30-15:00 福岡地区の教会の集い（博多教会） 「ホスト宗教改革500年～いま、ルターから学んで」（講師：石居基夫神学校校長）	13:30-15:00 福岡地区の教会の集い（博多教会）「ホスト宗教改革500年～いま、ルターから学んで」（講師：石居基夫神学校校長） 
23	月	9:30 オルガンの集い（礼拝堂）	15:00 臨時理事会（別館）
24	火		10:00 三苦ヨガ（教会）
25	水	10:00 高次脳機能障がいの方々の為のサロン（第2集会室）	
26	木		10:00 三苦ヨガ（教会）
27	金	8:50 福岡地区教会学校デイキャンプ（四王寺県民の森）	10:00 園礼拝（年少、年中-年長）
28	土	13:00 アラノン（アルコール依存者家族・友人の自助グループ/集会室）	10:30 聖霊降臨後第10（土曜）礼拝
29	日	※教会学校（夏休み中／新学期9月2日より） 10:30 聖霊降臨後第10主日礼拝、役員会	
30	月		
31	火	九州教区夏の中高校生キャンプ～8/2（阿蘇）	10:00 三苦ヨガ（教会） 
8/1	水	10:00 高次脳機能障がいの方々の為のサロン（第2集会室） ※黙想と祈りの集い（テゼの歌）は休会（9月5日より）	
2	木		10:00 三苦ヨガ（教会）
3	金	九州教区夏期聖書学校（阿蘇）～4日 	10:00 園礼拝（年少、年中-年長）
4	土		10:00 高次脳機能障がいの方々の為のサロン（聖ペテロ教会） ※毎月第1（土）主日（土曜）礼拝はお休み
5	日	※教会学校（夏休み中／新学期9月2日より） 10:30 平和主日聖餐礼拝 	←毎月第1（日）は箱崎教会で合同礼拝
6	月		
7	火		10:00 三苦ヨガ（教会） 
8	水	10:00 高次脳機能障がいの方々の為のサロン（第2集会室）	
9	木		10:00 三苦ヨガ（教会）
10	金		10:00 園礼拝（年少、年中-年長）
11	休・土	13:00 アラノン（アルコール依存者家族・友人の自助グループ/集会室）	10:30 復活後第12主日（土曜）礼拝
12	日	※教会学校（夏休み中／新学期9月2日より） 10:30 聖霊降臨後第12主日礼拝【西南デーノメッセージ：中根広秋先生（西南学院中高校長）】	
13	月		
14	火		10:00 三苦ヨガ（教会）
15	水	10:00 高次脳機能障がいの方々の為のサロン（第2集会室）	
16	木		10:00 三苦ヨガ（教会）
17	金	10:00 北部九州ルーテル幼保研修会（礼拝堂・集会室）	10:00 園礼拝（年少、年中-年長）
18	土		10:30 聖霊降臨後第13主日（土曜）聖餐礼拝
19	日	※教会学校（夏休み中／新学期9月2日より） 10:30 聖霊降臨後第13主日礼拝	
20	月		
21	火		
22	水	10:00 高次脳機能障がいの方々の為のサロン（第2集会室）	

※夏休みに各集会が入りましたのでご注意ください！— 教会学校、黙想と祈りの集い（テゼ共同体の歌を用いて）、愛餐会、女性の会仕事会、聖書を学ぶ会、壮年会、こどもとのつどい・青年会、教会学校教師会、「『聖書』ふりかえり」（学び）—いずれも9月より再開します

† 毎週土曜日・日曜日の礼拝など どなたも自由にご参加できます 各集会の詳細は気軽にお尋ねください